

# 令和5年度 研究推進全体構想

## <穂積小学校の教育目標>

「かしこくて  
あたたかくて  
たくましい子」  
自立力 → 進んで学ぶ  
確かな学力 工夫  
共生力 → 思いやりの心  
認め高まりあう仲間  
自己実現力 → 粘り強くやり抜く

## <穂積小学校の児童の実態>

○自身の考えを、図や式、言葉を駆使して説明する力が付いてきた。  
○考え方の違いや共通点に着目することで、深く学ぼうとする姿が見られた。  
▲仲間の話を納得するまで聞いたり、聞き返したりする姿が少ない。  
▲自分で考えて判断する力が弱い。  
▲一人一人が目標をもち、粘り強く取り組むことが弱い。

## 研究テーマ

# 一人一人の力を高める

～国語科、算数科の学習を通して～

## <研究仮説>

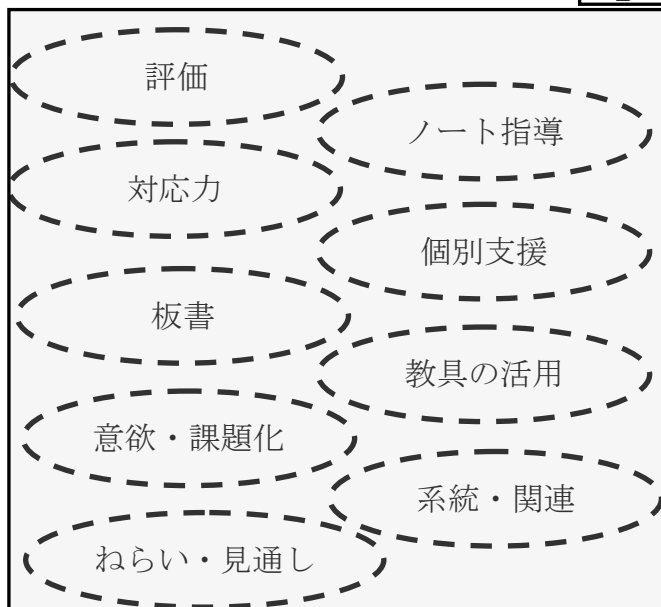
一人一人が考えをもって仲間と追究し、自分の考えをより確かなものにする。そして「できた 分かった」の実感をもつことができれば、子どもと共に教師の力も高まるだろう。

## <研究内容>

- I 単元の見通しがもてる単元構造の工夫（**単元・単位時間の目的の明確化**）
- II ①子どもが納得した考えをもつための全体追究の指導の在り方（**コーディネート力・発問、問い返し等**）  
②子どもが「できた 分かった」という実感がもてるための学習活動や終末の在り方
- III 教師の授業力を高める「自己課題」と「その取組」について

\*点線枠は教師の指導

# 子どもの力・教師の力



実感がもてる終末

仲間との追究(追求)

子どもの力・教師の力